

資料 G20バリ首脳宣言（一部抜粋）

1. 14年前G20の首脳は、我々の世代における最も深刻な金融危機に直面する中、初めて会合を行った。我々は、規模の大きなグローバルな経済主体として、共同で責任を負っていること、並びに、我々の協力が世界経済の回復に必要であり、グローバルな課題に取り組み、強固で、持続可能で、パランスのとれた、かつ包摂的な成長の基礎を築くために必要であることを認識した。我々は、G20を国際経済協力に関するプレミア・フォーラムと位置付け、本日、我々は、深刻な世界経済の課題に再び対処するに当たり協力するという我々のコミットメントを再確認する。

2. 我々は、2020年11月15日及び16日、他に類を見ない多角的危機の中、バリ島で会合を行った。我々は、経済の低迷を招き、貧困を増加させ、世界経済の回復を遅らせ、持続可能な開発目標（SDGs）の達成を妨げた、新型コロナウイルスのパンデミック及び気候変動を含むその他の課題によりもたらされた惨状を経験してきた。

3. 今年、我々は、ウクライナにおける戦争が世界経済に更なる悪影響を与えていることも目の当たりにした。この問題に関して議論が行われた。我々は、6月20日の国連総会決議ES/11/1（41か国が賛成、5か国が反対、35か国が棄権、12か国が欠席）においてロシアのウクライナ侵略を最も強い言葉で遺憾とし、同国のウクライナ領土からの完全かつ無条件での撤退を要求している国連総会が、国連安全保障理事会を含む他のフォーラムで表明してきた自国の立場を改めて表明した。ほとんどのG20メンバーは、ウクライナにおける戦争を強く非難し、この戦争が計り知れない人的被害をもたらす、また、成長の抑制、インフレーションの増大、サプライチェーンの混乱、エネルギー及び食料不安の増大、金融安定性に対するリスクの上昇といった世界経済における既存の脆弱性を悪化させていることを強調した。この状況及び制裁について、他の見解及び異なる評価があった。G20が安全保障問題を解決するためのフォーラムではないことを認識しつつ、我々は、安全保障問題が世界経済に重大な影響を与え得ることを認識する。

4. 平和と安定を守る国際法と多国間システムを堅持することが不可欠である。これには、国際連合憲章に謳われている全ての目的及び原則を擁護し、

二〇二二年二月五日〜六日、インドネシア・バリ
ウクライナ侵攻に関係する項目を掲載した

武力紛争における市民及びインフラの保護を含む国際人道法を遵守することが含まれる。核兵器の使用又はその威嚇は許されない。紛争の平和的解決、危機に対処する取組、外交・対話が極めて重要である。今日の時代は戦争の時代であってはならない。

5. 今日の世界経済における重要な局面において、共通の課題に対処するために、G20が、国際的なマクロ政策での協力及び具体的な協働も含め、利用可能な全ての政策手段を用いつつ、具体的に、正確で、迅速かつ必要な行動をとることに不可欠である。その際、我々は、開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国がこつした地球規模の課題に対応しSDGsを達成するに当たり、そうした国々へ支援を行うことにコミットしている。G20議長国インドネシアの「共に回復し、より強く回復する」というテーマに沿って、我々は、強固で包摂的かつ強靱な世界経済の回復、並びに雇用と成長をもたらす持続可能な開発のためのアジェンダを推進するため、協調行動をとる。

以上のことを踏まえ、我々は：

——マクロ経済政策対応及び協力において引き続き機動的かつ柔軟である。我々は、長期的な成長、持続可能かつ包摂的、グリーンで公正な移行を支援するため、公共投資及び構造改革を行い、民間投資を促進し、多角的貿易及びグローバル・サプライチェーンの強靱性を強化する。我々は、長期的な財政の持続可能性を確保する。G20の中央銀行は、物価の安定を達成することにコミットしている。

——金融の強靱性を強化し、持続可能な金融と資本フローを促進するために世界金融危機以来とられた措置に留意しつつ、マクロ経済及び金融の安定を守ることも、下方リスクを軽減するためにあらゆる利用可能な手段を用いることにコミットしている。

——食料及びエネルギー安全保障を促進し、市場の安定を支援するための行動をとる。価格上昇の影響を緩和するために一時的なかつ絞った支援を提供し、生産者と消費者の間の対話を強化し、長期的な食料及びエネルギー安全保障上のニーズ及び強靱で持続可能な食料・肥料・エネルギーシステムのための貿易及び投資を増加させる。

SDGsの達成を支援するため、民間投資の促進を含め、より多様な革新的資金源及び手段を通じ、低・中所得国及びその他の開発途上国への更なる投資を引き出す。我々は、多国間開発金融機関(MDBs)に対し、持続可能な開発及びインフラ投資によるものを含むSDGsの達成を支援し、グローバルな課題に対応するため、そのマンデートの範囲内で追加の資金を動員し提供するための行動を前進させることを求める。

SDGsの達成を加速させ、持続可能な開発を通じた万人の繁栄を達成することに改めてコミットする。

6. 我々は、現在の紛争及び緊張によって悪化した世界の食料安全保障上の課題について深く懸念している。したがって、我々は、とりわけ途上国の脆弱性に対処するため、命を救い、飢餓と栄養不良を防ぐための緊急の行動をとることにコミットするとともに、持続可能な強靱な農業・食料システム及びサプライチェーンに向けた変革を加速するよう求める。我々は、世界的な食料危機に対処するために利用可能なあらゆる手段を用いて、最も脆弱な人々を飢餓から守ることにコミットする。我々は、食料品及び肥料の世界的な価格高騰及び不足を含む食料安全保障上の課題に対処するため、更なる協調行動をとる。我々は、国際農業・食料安全保障プログラム等のG20の取組を想起し、食料安全保障を支援するための国際的な、地域的な又は各国のイニシアティブを歓迎する。我々は、特に、国連事務総長による食料・エネルギー・金融に関する国連グローバル危機対応グループ並びに世界銀行及びIMFの食料安全保障に係る対応の進捗に留意する。我々は、G20マテラ宣言を基礎とし、持続可能な形で食料を生産し流通させ、食料システムが気候変動への適応及び緩和並びに生物多様性の喪失防止・回復に一層貢献することを確保し、食料源を多様化し、全ての人のために栄養ある食料を奨励し、国際的、地域的及びローカルな食料バリューチェーンを強化し、並びにフードロス及び食料廃棄を削減する取組を促進するために協力することを重要な性を強調する。また、我々は、ワンヘルス・アプローチを実施し、食品科学技術の研究を強化し、また、食料サプライチェーン上の関連するステークホルダー、特に女性、若者、小規模・零細農水産業者の能力を向上させる。

7. 我々は、困難な状況下で食料サプライチェーンの機能を維持するための国際的な取組を支持する。我々は、特に開発途上国及び後発開発途上国において支援を必要としている人々のため、食料及び食品についてアクセス、手頃さ及び持続可能性を確保することに、食料不安に対処することにコミットしている。我々は、開かれ、透明性があり、包摂的、予見可能かつ無

差別的で、WTOルールに準拠した、ルールに基づく農業貿易に対する支持を改めて表明する。我々は、市場の予見可能性を高め、歪みを最小化し、ビジネスの信頼を高め、農業及び食料品の貿易が円滑に進むようにすることの重要性を強調する。我々は、世界の農業・食料品の貿易のルールを更新し、農産品及び食品の貿易を促進する必要性並びに関連するWTOの規定と整合的ではない態様での食料及び肥料に係る輸出禁止又は輸出制限を課さないことの重要性を再確認する。我々は、食料貿易のサプライチェーンの混乱に対して最も脆弱な人々を支援するため、食料及び肥料について、地元の食料源を基礎とするものを一部含む持続可能な供給並びに生産の多様化にコミットしている。我々は、意図的に食料安全保障に悪影響を与えることを回避する。我々は、緊急事態における食料へのアクセスを確保するための人道的な供給を促進することにコミットするとともに、利用可能な資金を有する国連加盟国及び全てのステークホルダーに対し、食料危機によって最も影響を受けた国々の政府の要請に応じ、また、これらの政府により評価されたニーズに基づき、そうした国々を支援するために現物供与及び資金の提供を行うよう求める。我々は、人道的な活動については制裁対象としないことを引き続き支持するとともに、国連における現在の取組を通じたものを含め、全ての国がこの目的を支持することを求める。我々は、世界の食料安全保障と栄養の状態を引き続き注意深くモニタリングする。

8. 我々は、緊張を緩和し、世界的な食料不安及び途上国における飢餓を防ぐための、ウクライナ及びロシア連邦からの穀物、食料品及び肥料/投入物の妨害されない輸送に関する、「ウクライナの港からの穀物及び食料品の安全な輸送に関するイニシアティブ」(黒海穀物イニシアティブ)並びに世界市場へのロシア産の食品及び肥料の供給促進に関するロシア連邦と国連事務局の間の了解書から成る、トルコ及び国連の仲介によって2022年7月22日に署名された2つのイスタンブール合意を歓迎する。我々は、全ての関連するステークホルダーによるこれらの取組の継続を求める国連事務総長の呼びかけを強調する。この文脈で、我々は、EUの「連帯レーン」、国連世界食糧計画(WFP)によって促進されたロシアの肥料の寄付等、農産・食料品のの流れを確保する他の取組を強調する。更に、我々は、アラブ調整グループのイニシアティブのような食料不安に対処する様々なイニシアティブに留意する。

(以下省略)